

- 氏名 : 佐藤 貴紀
- 会員番号 : FE-0429
- 専門分野 : コンクリート構造物・港湾構造物の設計

来年に海外の建設コンサルタントに派遣される可能性が出てきたことから、PE の早期取得を目指しています。FE 試験を 4/1 に受験し、4/5 に合格発表があり、その後、すぐに PE 試験の申込手続きをしました。申込んだ分野は、Structural です。私は設計部に所属しており、構造設計は比較的馴染みが深かったこと、海外の設計基準も業務で扱っていたこと、他の分野と比較して合格率が高かったこと等を加味して、分野を決定しました。万が一、PE 試験に落ちた場合の再受験日程 (3 月～5 月期中の受験) と勉強期間を考慮し、試験日を 5/22 に設定しました。また、同時に教材の入手を進めました。入手した教材は以下の通りです。

- ① PE Civil Reference Handbook 1.2 Effective April 2023 - March 2024 NCEES
- ② PE Civil: PE Civil: Structural Practice Exam NCEES
- ③ Civil PE Practice Exam: Breadth Exam Version A PE Prepared LLC (著)
- ④ Civil PE Practice Exam: CBT Breadth Volume A Path to PE Services (著)
- ⑤ Civil PE Practice Exam: CBT Breadth Volume B Path to PE Services (著)
- ⑥ PPI PE Civil Practice Problems, 16th Edition – Comprehensive Practice for the NCEES PE Civil Exam Michael R. Lindeburg PE (著)

②～⑤の教材を主に使用して勉強を進めました。会社で 4 月下旬から 2 週間の海外出張もあり、実質勉強に費やせた期間は 1 か月程度であったと思います。これらの教材では完全に理解できた問題には×印をつけ、それ以外の問題のみを繰返し解き、同じ問題が出たら全問正解できるレベルまでもっていきました。また、②～⑥の教材を解く上で参照した PE Civil Reference Handbook には、該当箇所にマーカを塗り、試験直前に再度確認することで、すぐに参照すべき式や図表にたどり着けるように準備をしました。Depth の範囲の試験準備には、②と⑦の教材を使用しました。⑦の教材は、難易度が高く、Amazon の口コミでも、実際の試験問題よりも難しいとの書込みがあったこと、時間が無かったことから、全範囲の 1/5 位を 2 回解いた程度しかできませんでした。

試験時間は 8 時間で 80 問あるので、10 問 1 時間のペースを意識し、前半の Breadth を 3 時間 45 分分で終わらせ、午後の部に多少の余裕を持たせた時間配分としました。午後の Depth では初見の問題も多く、Structural は参照すべき設計基準が多い上、一つの基準を通しての検索ができず、各章毎にしか検索が出来なかったため、見たい箇所にたどり着くのにかかなりの手間と時間を要しました。前半 40 問の Breadth はほぼ全ての問題を解くことができましたが、後半 40 問の Depth の問題は難しかったです。特に木材やコンクリートブロックを用いた構造計算等、日本国内の土木で扱わない材料を使った問題がそれぞれ複数題出題され、②の教材から得られた知識だけでは、それらに対応できませんでした。

試験 8 日後の 5/31 に合否発表があり、無事試験に合格していました。②～⑤の教材は大変良い教材ではあると思いますが、解答に間違いも含まれているので、Amazon の口コミ等で正しい解答の確認をした方が良いです。

以上